



毎年中国人女性 15.5 万人が子宮頸癌と診断されている

和讯新聞

news.hexun.com 2016-03-13

05:32:00 来源：大洋网-广州日报

医学指導/広州医科大学付属第三医院生殖医学センター主任劉見橋教授
文/広州日報記者 黄蓉芳 通信員黄賢君、白恬

性機能障害、この言葉は多くの場合、男性の生殖機能の健康に関する言葉となっており、女性にも関係していることを知る人は少ない。だが、本日記者は広州医科大付属第三医院生殖医学センターの『柔剤性孕関愛』健康公益プロジェクトのキックオフ会の席上、中国では、都市にすむ女性の 6 割が性機能障害を持っており、『性の楽しみ』を享受することが難しいということを知った。当該医院の生殖医学センターの劉見橋教授（センター長）は、中国女性の性と生殖の健康は『問題だらけ』なのに、これに注意を向ける人は殆どいないと語った。女性の性と生殖の健康を悩ますものには他に子宮頸癌や婦人科の腫瘍や妊娠中絶、不妊症などもある。統計によれば、中国では毎年 15 万 5 千人の女性が子宮頸癌と確定診断されており、妊娠中の中国女性 3 人中 1 人には妊娠中絶の経験があり、我が国出産適齢女子中の 10～15%を上回る人が不妊症を患っている。

現状 女性の性と生殖の健康に対する知識の欠如

劉見橋教授は、女性の性と生殖の健康に関して、最も突出している現象は、人々の女性の性と生殖の健康に関する知識が不足していることだと語る。彼は、「末端の未婚人工における性と生殖の健康知識についてのある調査により、卵子が乱訴で作られていることを知っていたのは僅か 39.4%の男性と 22.9%の女性であり、女性が妊娠するのに最も良い時期を知っていたのは、7.6%の男性と 15.6%の女性であったなど、避妊方法やエイズ、性病に対して理解しているのは極めて僅かであった」と語る。

人々の、女性の性と生殖の健康に対する知識欠如以外、女性に対するアドバイスをしたり、性と生殖の健康についてサポートしたりできるスタッフ数が十分ではないということもある。女性を例にとれば、末端の医院は女性が真っ先に性と生殖の健康を求めにゆく支援場所となるが、不妊専門科を持つ末端の病院数は多くない。末端医院の産婦人科の医師は、生殖方面の専門知識及びその治療経験が少なく、女性に対して極めて単純な指導とサポートが行われており、経験不足により、性と生殖の健康状の問題を重視しないこともある。

問題 1 『性生活の不調和』が離婚原因の第一位

人々における女性の性と生殖に関する健康知識の欠如と、女性の性の悩みに対するサポートに関する人的な資源不足は、簡単に見て取れる。まず、女性の性生活の品質が高くないということだ。劉見橋教授は、「民生部発表の関連データによれば、2014 年における全国の離婚数は 363.7 万組に達しており、前年より 3.9%増加している。また別の調査では、ここ数年 35%の離婚が『性生活の不調和』（宮本注：下線は訳者）とされており、離婚原因の首位になっている」と語る。

『性生活の不調和』での出産は、大多数の夫妻が普通正常で適切な性生活に関する知識の欠乏と関連している、と劉見橋教授は語る。臨床においてよく遭遇するのは、非常に多くの患者が『同居問題』について相談に来るのだが、既に一人目の子供を持った夫妻が二人目の妊娠計画の段階になっても正しい性生活スタイルを理解していないということもある。

また別の方面では、女性の性生活のクオリティが高くないことと無関係ではないということもある。ある調査によれば、我が国の都市で生活している女性の性機能障害は 57%にも達しているとのことだ。劉見橋教授は、「男女の性と生殖に関する健康において、ずっとこれまで人々が男性の性機能に対してのみに注目をしており、女性の性生活のクオリティについては長期に亘り無視されている」と語る。

『実際、男女それぞれが演じる社会的役割や社会的義務、家庭の義務などにおいて、女性の性生活のオリティ因子は男性のそれに遙かに及ばない。』劉見橋教授は、「女性の性機能障害には、性欲や性衝動或いは性的興奮、性的喜び、性行による疼痛、膣の湿り、性的オーガズムの六つの面が含まれており、女性の性機能表についての研究によれば、中国人女性の性機能障害の比率は人々をして戦慄させるものだ」という。

問題2 広東省では子宮頸癌発症率が乳がんを上回る

女性を悩ますものには子宮頸癌など婦人科の腫瘍がある。劉見橋教授は、中国では毎年15.5万人の女性が子宮頸癌と診断されているという。2014年の最新データによれば、広東省の子宮頸癌発症率は10万人あたり11.4人だが、乳がんは8.9人、卵巣がんは2.0人であり、子宮頸癌が女性の悪性腫瘍の第一位となっている。子宮頸癌患者は年を追って増えており、若年化の趨勢を呈している。

『若年婚、若年出産、何度もの出産、結婚を繰り返したパートナー及び不潔な性生活歴等の問題が、女性にとっては子宮頸癌発症のリスクとなる。』劉見橋教授は、HPV（ヒトパピローマウイルス）が子宮頸癌を引き起こす元凶であり、性生活のある80%の女性には一生の中で誰しもヒトパピローマウイルスに感染する、重篤な場合にはその出産に影響を与えるという。

問題3 妊婦3人中1人が妊娠中絶

劉見橋教授は、「2014年の国家人口計生委の最新資料では、我が国では毎年少なくとも1300万人の女性が妊娠中絶を受けているが、2013年の妊娠中絶率は31%に達しており、これは妊婦3人中1人が中絶をしているということになる。うち、毎年妊娠中絶を受けた女性の半分がまた流産を繰り返しており、25歳以下の女性がそのうち半分以上を占めている」と語った。

『妊娠中絶がもたらすリスクは、疑いのないものだ。』劉見橋は、言う。彼の患者は、二度の中絶により流産を繰り返す体となり、二度の妊娠でも子供を作ることができなかったのだ。「流産を4度繰り返すと、不妊になる率は92%に達し、不妊患者のうち90%の女性に妊娠中絶の過去があった」と彼は言う。「妊娠中絶であれ、薬物による流産であれ、女性の生殖システムへの障害は必然であり、出産能力への影響もまた計り知れないものとなる」というのだ。

問題4 妊娠適齢期の10~15%が不妊症

劉見橋教授は、「現時点で、全世界で8~12%の夫妻が出産障害に悩んでいる。我が国においては妊娠適齢期の女性中10~15%が不妊症を患っているが、WHOは、心臓・血管病と腫瘍に次いで、出産障害が人類の健康を脅かす三大疾病となるだろうと予測している」と語った。

劉見橋は、「殆どの不妊症の女性たちは、検査や診断、治療を受けておらず、より精神的且つ、社会的な重荷を背負っているのだ。たとえば、不妊症は、高齢女性が直面する出産障害問題であるだけではなく、若年層の女性においても卵巣機能障害により不妊になることも多くあり、たとえば、生理不順の女性が年々増加しているが、これも往々にして性と生殖の健康における表面に現れない悩みや災禍となっているのだ」と語る。

<http://news.hexun.com/2016-03-13/182725612.html>

..... 以下は中国語原文

毎年15.5万女性确诊宫颈癌

和讯新闻 news.hexun.com 2016-03-13 05:32:00 来源：大洋网-广州日报

医学指导/广州医科大学附属第三医院生殖医学中心主任刘见桥教授
文/广州日报记者黄蓉芳 通讯员黄贤君、白恬

性功能障碍，这个更多地用于男性生殖健康的名词，人们很少会将它跟女性联系在一起。然而，记者日前从广州医科大学附属第三医院生殖医学中心“柔性孕孕关爱”健康公益项目的启动仪式上获悉，在中国，近六成的城市女性患有性功能障碍，难享“性福”。该院生殖医学中心主任刘见桥教授介绍，中国女性的生殖健康“问题重重”，但却鲜有人重视。困扰女性的生殖健康的还有宫颈癌等妇科肿瘤、人流、不孕症。据统计，中国每年约有15.5万女性被确诊为宫颈癌，三个怀孕的中国女性中有一个做过人流，我国育龄妇女中大约有10%~15%的人患不孕症。

现状 女性生殖健康知识贫乏

刘见桥介绍，关于女性生殖健康，最突出的现象就是，公众对于女性生殖健康相关知识的贫乏。他说，一项针对基层未婚人口生殖健康知识的调查发现，仅39.4%的男性和22.9%女性知道卵子是由卵巢产生，7.6%的男性和15.6%的女性了解女性最佳受孕时期等，对避孕方法、艾滋病、性病了解极其有限。

除了公众对女性生殖健康知识的匮乏外，可供女性咨询和寻求性与生殖健康帮助的社会资源也十分紧缺。以女性为例，基层医院是女性群体最先寻求性与生殖健康帮助的场所，但设有专门不育不孕专科的基层医院数量不多，基

层医院妇产科医生在生殖方面专科知识及诊疗经验有限，有些用极为简单的方法指导和帮助女性，甚至可能存在因缺乏经验而忽视性与生殖健康问题。

问题 1 “性生活不和谐” 位居离婚原因之首

公众对于女性生殖健康相关知识的贫乏和可供女性咨询和寻求性与生殖健康帮助的社会资源的紧缺，带来的问题也是显而易见的。首先就是女性性生活质量不高。刘见桥介绍，根据民政部发布的相关数据显示，2014 年全国依法办理离婚 363.7 万对，比上年增长 3.9%。另有调查显示，近几年 35% 的离婚案是因为“性生活不和谐”，位居离婚原因之首。

“性生活不和谐”的产生，一方面可能与大多数夫妻普遍缺乏对正常的、适宜的性生活的了解有关。”刘见桥说，在临床经常遇到很多患者前来咨询“同房”问题，甚至有些生育过一个孩子的夫妻在备孕二胎时仍对正确的性生活方式不甚了解。

另一方面，与女性的性生活质量不高不无关系。有调查显示，我国城市女性的性功能障碍的患病率高达 57%。刘见桥说，在两性生活健康中，一直以来，公众对男性的性功能是过分关注，而女性的性生活质量却长期被忽视。

“事实上，从男女各自所扮演的社会角色和所承担的社会义务、家庭义务而言，影响女性性生活质量的因素远远多于男性。”刘见桥说，女性的性功能障碍主要包括性欲、性激动或性兴奋、性唤起、性交疼痛、阴道湿润、性高潮六个方面，有研究通过对女性性功能量表的测定，中国女性性功能障碍的比例实在令人吃惊。

问题 2 广东宫颈癌发病率超乳腺癌

困扰女性的还有宫颈癌等妇科肿瘤。刘见桥说，中国每年约有 15.5 万女性被确诊为宫颈癌。2014 年最新统计数据显示，广东宫颈癌发病率 11.4/10 万，乳腺癌 8.9/10 万，卵巢癌 2.0/10 万，宫颈癌位列女性恶性肿瘤之首。宫颈癌患者不仅逐年增多，且呈年轻化趋势。

“早婚、早育、多产、多次结婚性伴侣较多以及有不洁性生活史等问题，是导致女性宫颈癌的高危因素。”刘见桥介绍，HPV（人乳头瘤状病毒）是引发宫颈癌的元凶，而 80% 有性生活的女性一生中都会感染到 HPV 病毒，严重者甚至影响生育。

问题 3 每三个怀孕女性中有一个人流

刘见桥介绍，2014 年国家人口计生委最新资料显示，我国每年至少有 1300 万女性采取人工流产措施，2013 年“人流率”更是高达 31%，相当于每三个怀孕的女性就有一个人流。其中，每年人工流产女性中有一半是重复流产，重复流产中 25 岁以下女性占到一半以上。

“人流带来的危害是毋庸置疑的。”刘见桥说，他的一名患者，曾因人流两次形成习惯性流产，两次再度怀孕都没有保住孩子。“反复流产四次，发生不孕的几率高达 92%，而在继发性女性不孕患者中 90% 有人流史。”他说，无论是人流还是药流，对女性生殖系统的伤害是必然的，对生育能力的影响也是无法预计。

问题 4 10%~15% 育龄妇女患不孕症

刘见桥说，目前，全球范围约有 8%~12% 的夫妻遭受过生育障碍的困扰。我国育龄妇女中大约有 10%~15% 的人患不孕症。世界卫生组织预测，继心血管病和肿瘤之后，生育障碍将成为威胁人类健康的第三大疾病。

“而不孕症的女性，不仅承受着大部分检查、诊断和治疗，还承受着更沉重的心理和社会负担。”刘见桥说，如今，不孕症不仅是高龄女性面临生育障碍问题，不少年轻女性也存在着因卵巢功能障碍问题导致的不孕，比如，月经不规律的女性越来越多，这往往会成为生殖健康隐患。